

復習用スライド

前回の復習

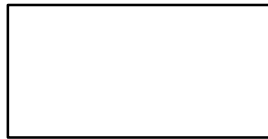
04月25日の講義

前回の課題

- ✓ 人間個人の労働に着目して、人間個人と動物個体との違い、つまり人間個人の特性を経済面から考察した。
- ✓ 経済活動が物質代謝の効率的運営であるという側面を明らかにした。

労働の第一の特徴：○○の実現

- 人間は労働において、実際に生産する前に頭の中で生産している。
- 未来を先取りしている。
- すなわち、人間の労働とは、



の実現である。

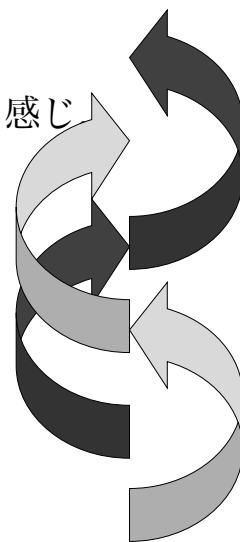
××と欲求

- ○○の実現によって、
- 人間は、理想と現実とのギャップを感じ




と欲求との


インフレスパイラルに入り込む。



労働の第二の特徴：××への従属

- 人間は労働において、実際に生産している間は、自分に自分を、またそれを通じて自分の周りの自然を従わせている。
- すなわち、人間の労働とは、
への従属である。
- このことによって、人間は、たえず試行錯誤しながら、自らの意志で最適解を追求する。

必然性と△△

- 人間は、労働において、自然の必然性（≡自然法則）を、(1)認識し、それによって(2)自らの意志で、自分に都合がいいように、つまり△△自在に、実現することができる。
- この意味で、労働する人間は
な存在である。

労働と◇◇

- わざわざやっている自覚的活動だからこそ労働は、

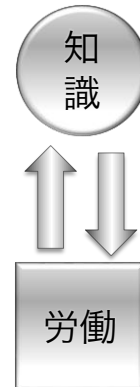
1. 何よりも先ず を生みだし

- 労働の結果としての◇◇

そしてひとたび◇◇を生みだしたら

2. ◇◇を適用する

- 労働の前提としての◇◇



今回の予定

- ◎ 『[2-B] 労働の媒介性』および『[2.5] 効率的運営から社会的運営への移行』（講義内配布）はほとんど飛ばす。
- ◎ 『3. 社会と労働』を考察して、
 - ◎ 人間社会と動物集団との違い、つまり人間社会の特性を経済面から考察し、
 - ◎ 経済活動が物質代謝の社会的運営であるという側面を明らかにする。

解答

1. 構想
2. 能力
3. 意志
4. 自由
5. 知識